

第二次「広島商工会議所環境行動計画」

I. 趣 旨

地球温暖化をはじめとする環境問題が深刻化する中、企業においても、環境と経済を両立させた「持続可能な社会」の実現に向けて、長期的、継続的に環境に配慮した経営（環境経営^(註1)）に取り組んでいくことが求められている。

こうした中、本所では、省エネルギーや資源の有効利用など、会員中小企業の取り組みを、企業の経営力の強化を図る絶好の機会としてとらえ、本所会員企業が環境に配慮した経営システムづくりに自主的・継続的に取り組めるよう強力で支援する。

II. 計画の概要

1. 基本方針

(1) 目 的

広島商工会議所として環境問題に率先して取り組むことはもとより、会員企業が、「環境経営」に、自主的・継続的に取り組むことができるよう積極的な支援を行う。

(2) 取り組みの方向性

- ①講演会・セミナーの開催や所報・ホームページ等、あらゆる機会を通じ、「環境経営」に取り組む意義や、取り組みがCSR（企業の社会的責任）はもとより、経営の効率化・経費削減に繋がることを理解していただけるよう啓発に努める。
- ②取り組み内容や支援メニューを具体的に解りやすく提示し、各社で実施可能なものから順次取り組みを進めることができるよう工夫する。
- ③事業実施にあたっては、会員企業を対象に行ったアンケート結果に十分配慮する。
- ④主管する環境委員会において、毎年、国等の動きや前年の取り組みをとりまとめ、必要に応じて計画内容の見直しを行う。
とりまとめた内容は、所報・ホームページ等を通じて会員企業へフィードバックするとともに、日本商工会議所へ報告する。

2. 実施期間

環境問題への取り組みは長期的かつ継続的に実施していくことが求められる。

第二次計画では、平成 25（2013）年度以降を実施期間とし、毎年、国等の動きや前年度の取り組み結果をとりまとめ、必要に応じて内容の見直しを行う。

なお、第三次計画については、環境問題に関する国際的枠組みや国の取り組みの方針が決定された段階で検討を行う。

3. 実施体制

環境委員会が主管し、計画を推進する。

(担当：商工部産業振興チーム)

4. 実施事業

(1) 広島商工会議所としての取り組みの推進

- ① 環境マネジメントシステム「エコアクション 21(注2)」認証の運用
- ② 職員の環境意識のさらなる向上(「環境社会検定試験 (eco 検定) (注3)」取得促進 他)

(2) 会員中小企業等による実態把握への支援

- ① 省エネチェックシート(注4)「ひろしまeシート」の普及

(3) 会員中小企業等による取り組みへの支援

- ① 環境問題に関する先進事例を紹介する説明会・セミナー・視察会等の開催
- ② 所報やホームページによる先進事例・支援メニュー・新制度等の広報
- ③ 補助金・助成金・融資制度に関する情報収集及び提供
- ④ 環境行動を実践する取り組みを整理したリーフレットの作成及び提供

(4) 行政との連携

- ① 「ひろしま地球環境フォーラム(注5)」への参画
- ② 「広島市地球温暖化対策地域協議会(注6)」への参画
- ③ 支援策に関する行政への要望

5. 第一次計画(平成21~24年度)の評価

	項目	評価
3つの宣言	環境マネジメントシステム「エコアクション21」認証の取得	平成22年2月に認証登録
	「環境社会検定試験 (eco 検定)」の全職員合格を目指す	合格率 97.0% (62/64 人、平成25年2月現在)
	行政機関等と連携して取り組む	説明会・視察会の開催等、連携して取り組んだ。
3つの目標	環境行動を実践する企業数 会員の 50% 以上	平成20年 39.3% 平成24年 48.7% (+9.4)
	「チェックシート」利用企業数 会員の 30%以上 (※二酸化炭素排出量の把握)	平成20年 8.5% 平成24年 29.7% (+21.2)
	「環境社会検定試験 (eco 検定)」合格者 在籍企業数 会員の 30%以上	※個人情報のため、会社としての把握が困難。
3つの行動	二酸化炭素排出量を容易に把握することができる「チェックシート」の提供	環境負荷チェックシート「ひろしまeシート」を平成23年3月に提供
	環境対応を図るための取り組みを網羅した「パンフレット」の提供	リーフレット「環境行動実践ガイド」を平成22年11月に提供
	環境マネジメントシステム「エコアクション21」認証取得の支援	本所主催で説明会・集合研修を平成24年3月に開催(広島県委託事業) 他

広島商工会議所環境行動計画の推進に向けて

3つの宣言

※広島商工会議所としての取り組み

○環境マネジメントシステム「エコアクション21」認証の運用

平成22年2月に広島商工会議所として認証登録した、環境マネジメントシステム「エコアクション21」認証を運用し、環境行動が組織運営の効率化に繋がることを職員自らが体感し、企業支援に役立てる。

○職員の環境意識のさらなる向上

職員の「環境社会検定試験（eco検定）」全職員合格に継続して取り組む他、「エコアクション21」の運用や研修等を通じて環境意識のさらなる向上を図る。

【平成25年2月時点での合格者数：職員64人中62人（97.0%）】

○行政機関等と連携して取り組む

取り組みを効率的かつ効果的に進めていくため、国・県・市などと連携するとともに、必要に応じて支援策の要望を行う。

3つの目標

○環境行動を実践する企業数の拡大

より多くの会員企業が環境行動を実践するよう、積極的な支援・啓発に努め、取引先や従業員の家族などにまで取り組みの輪を広げる。

当面、環境行動を実践する企業数の維持・拡大に継続して取り組むこととし、第三次計画において、情勢の変化を踏まえた新たな評価項目を検討する。

【アンケート結果(注1)】

環境行動全19項目中7項目以上実施済と回答 平成20年39.3%⇒平成24年48.7%
〔第一次目標50%〕

○省エネチェックシート「ひろしまeシート」利用企業数の拡大

より多くの会員企業が、自社のエネルギー使用量や廃棄物排出量がどの程度か「見える化」できるよう、使いやすいチェックシートを作成する。

新たなチェックシート提供後、ホームページアクセス数の把握を行い、普及・拡大に努める。

【アンケート結果】

排出量算出 実施済と回答 平成20年8.5%⇒平成24年29.7%〔第一次目標30%〕

○「環境社会検定試験（eco検定）」合格者在籍企業数の拡大

「環境社会検定試験（eco検定）」の受験を環境教育の一環として位置づけ、より多くの会員企業に合格者が在籍するよう啓発に努める。

3つの行動

※会員企業への支援策

○環境行動を実践するための取り組みを整理した「リーフレット」等の提供

業種や職場環境の違いにより、すぐ実施できる取り組み、実施しにくい取り組みが出てくる。実情に合った取り組みを進めていただくため、先進事例の紹介や環境行動のポイントをわかりやすく解説したリーフレット等を作成し、会員企業に提供する。

○省エネチェックシート「ひろしまeシート」の提供

取り組みの実効性を高めるためには、まずは自社のエネルギー使用の現状を把握することが必要となる。エネルギー使用量や廃棄物排出量を簡単に算出・分析することができるチェックシート「ひろしまeシート」を更新し、会員企業に提供する。

○環境マネジメントシステム「エコアクション21」認証取得の支援

システムの構築・維持に係る費用が安価で、中小企業にも取り組みやすい環境マネジメントシステム「エコアクション21」認証を会員企業が取得できるよう、説明会の開催などに取り組む。

(注1) 環境経営

省エネルギーや資源の有効利用など、環境に配慮しつつ企業の持続的な発展を目指す経営。

(注2) エコアクション21

環境省が ISO14001 規格をベースに策定した「ガイドライン」に基づく、システムの構築・維持に係る費用が安価で、中小企業にも取り組みやすい環境マネジメントシステム。経費の削減や生産性・歩留まりの向上、目標管理の徹底等の効果が期待できる。

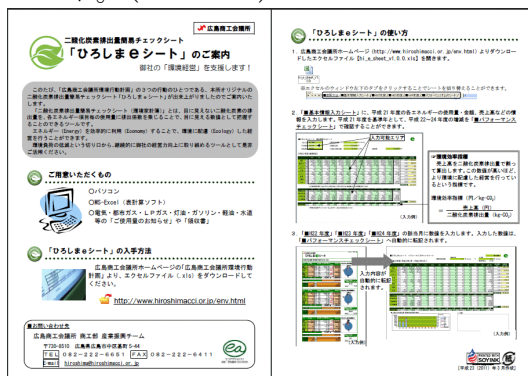
(注3) 環境社会検定試験 (eco 検定)

環境に対する幅広い知識をもち、社会の中で率先して環境問題に取り組む「人づくり」と、環境と経済を両立させた「持続可能な社会」を目指すことを目的に実施している商工会議所の検定試験。

[毎年2回(7月・12月)実施、受験料5,250円、マークシート方式、100点中70点以上で合格]

(注4) 省エネチェックシート

事業活動における月々のエネルギー使用量や廃棄物排出量等のデータを入力することで、年間の使用量・料金・二酸化炭素排出量等を簡単に把握することができるシート。(MS-Excel)



(注5) 「ひろしま地球環境フォーラム」

平成17年5月、県民、団体、事業者、行政が相互に連携しながら、環境にやさしい地域づくりを協働して進め、環境と経済が調和した活力ある地球環境保全型社会の創出に寄与することを目的として設立された。(事務局：広島県環境県民局)

(注6) 「広島市地球温暖化対策地域協議会」

平成15年10月、地球温暖化防止に関する活動を行う市民、事業者、環境NPO、市が連携して、温室効果ガス排出量の削減に向けて必要な事項を協議し、地球温暖化防止の取組を推進することを目的に設立された。(事務局：広島市環境局)

(注7) 地球温暖化対策及び省エネルギー対策に関するアンケート

本所第一次環境行動計画を策定するにあたり、本所会員の取り組み状況を把握するため、平成20年11月に1,931会員を対象に実施し、541会員より回答を得た。

また、第二次計画の策定においても、1961会員を対象に実施し、462会員より回答を得た。

【設問：①クールビズ、②ウォームビズ、③節電の励行、④マイカーから公共交通機関への切り替え、⑤アイドリングストップ、⑥燃費の良い車への転換、⑦モーターシフト、⑧省エネ機器への買い替え、⑨新エネルギーの導入、⑩排出量の算出、⑪環境経営認証の取得、⑫環境担当セクションの設置、⑬環境知識の向上、⑭環境活動への参加、⑮グリーン購入の実践、⑯リデュース、⑰リユース、⑱リサイクル、⑲簡易包装】